

あなたとJAをむすぶ情報誌

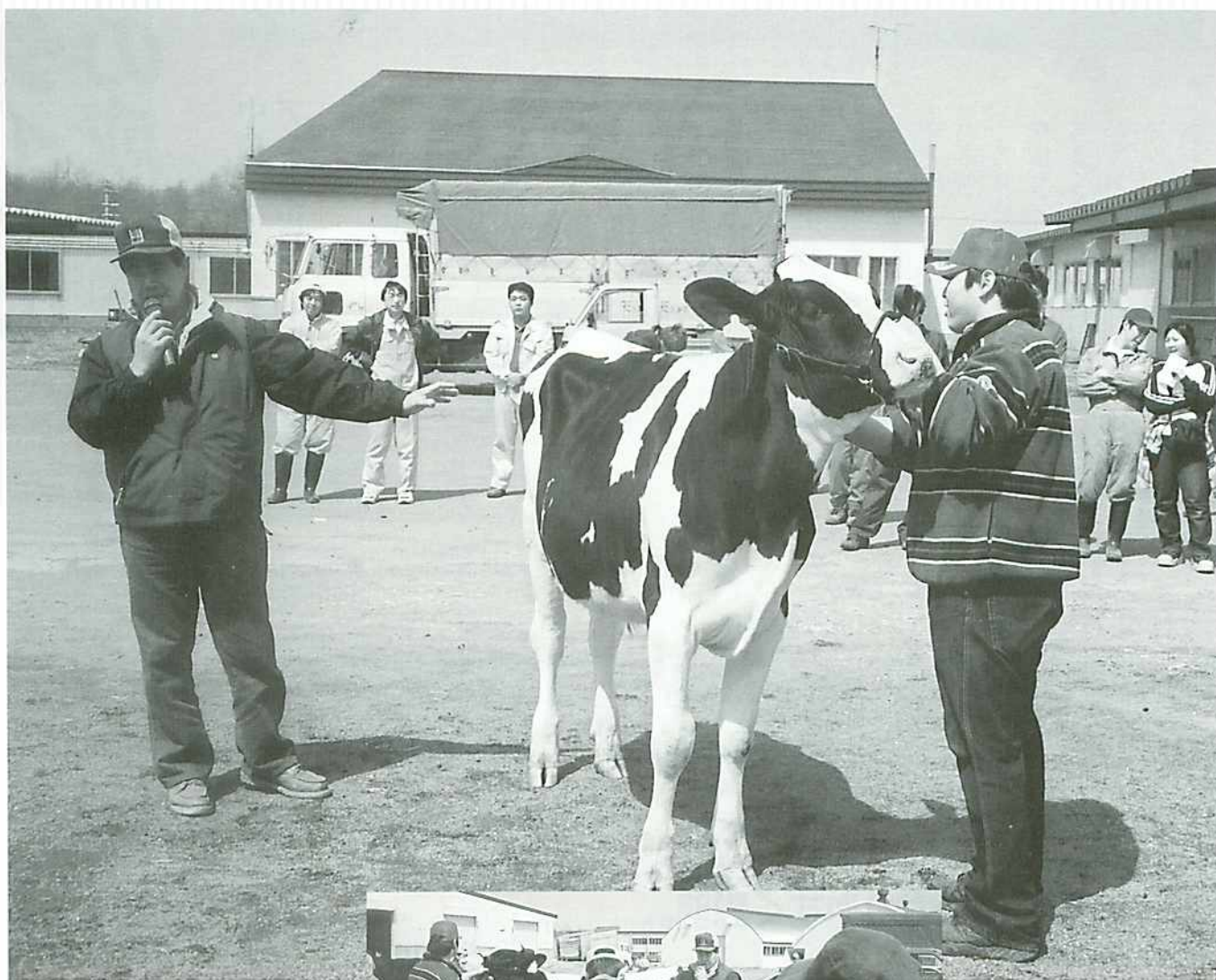
なかしべつ

2002

5月

No.329

大人から子供までわかりやすく説明され、好評だった乳牛審査講習会



ホルスタイン雌牛の見方、
審査を勉強しました

中標津ホルスタインの 優美さと改良の成果を競う。



中標津ブラック アンドホワイトシヨウ

中標津乳牛改良同志会主催
により、中標津B&Wシ
ヨウが四月二十七日ホクレン
根室地区家畜市場にて管内の
トップをきって開催されまし
た。

審査員には、標茶町酪農家
熊谷牧人氏があたり九部門四
十四頭を的確かつスピーディ
ーに行なわれ、出品者、来場
者にも好評でした。また、デ
ーリイークイーンには当幌地
区・長正路恵美さん、第二保
落地区・飯野明美さんがそれ
ぞれシヨウに花を添えていた
だきました。

当日は気温も上がり外での
開催となり、ご来場された方
も多く他町からも見えにな
っております、中標津ホルスタ
インの優美さが感じられたと
思います。

入賞牛	グランドチャンピオン	川村 尊之氏
	ベストアダーチャンピオン	
	リバービレッジ ホープ レクサス号	弾正原 正氏
	シニアリザーブチャンピオン	
	サニーデール プリシー レクサス号	福嶋 信博氏
	ジュニアチャンピオン	
	ハッピーランド ソーニマ デルモア クリスタン号	佐々木昭雄氏
	ジュニアリザーブチャンピオン	弾正原 正氏
	アースイースト スターバック レデューク号	
	プレミアブリーダー・プレミアエキジビター	
新人賞	鈴木 達也氏、吾妻 秀樹氏	

ユーモア交え、わかりやすく説明。

●乳牛審査講習会



春の日だまりの中、中標津乳牛改
良同志会主催により、四月二十日ホクレン根
室地区家畜市場にて、JAホル
スタインクラブ、関係者など約六十
人が参加し、ホルスタイン雌牛の見
方、審査について学びました。
講師には北海道ナショナルシヨウ
など審査されています。当会員・弾正
原正氏が解りやすく、かつユーモア
を交え楽しく説明され、子供から大
人まで解りやすかったとの評判でし
た。ジャッジングでは未経験、経産
と行ない第一位に福村稔氏が受賞さ
れました。閉会後は焼き肉を囲んで
交流会が催され、春の一日を満喫い
たしました。

営農技術

生菌数削減の3つのコツ

北根室地区農業改良普及センター

表1 ミルカー洗浄のチェックポイント
(見つけにくい汚れ箇所)

チェックポイント
洗剤の使用状況
クロー・レシーバージャーの内部 (写真1,2)
バルクの排出コック・アジテータの羽部分
タンク上部の隅や投入口フタの裏側 (写真3)
送乳ホースの内部・先 (写真4)
ミルクタップ (写真5)

- 一、細菌を混入させない搾乳
生乳へ細菌が混入する危険が一番高いのは、搾乳の時です。搾乳前処理によって「乳頭口の細菌レベル」を最小限にすることが重要です。そのためには、丁寧な乳頭の清拭や、ブレイディッピングの実施などを意識的に行ないましょう。
- 二、ミルカーの洗浄状況のチェック
自動洗浄システムが、正常に機能しているかどうかの点検が必要です。表一のチェックポイントを見て、洗浄が良好かどうか確認して下さい。
- 三、定期的なゴム類の交換
ライナーゴムやミルクホースなどのゴム類の劣化によるヒビ割れは、細菌の巣になってしまいます。毎日、チェックをして定期交換を実施しましょう (写真六)。



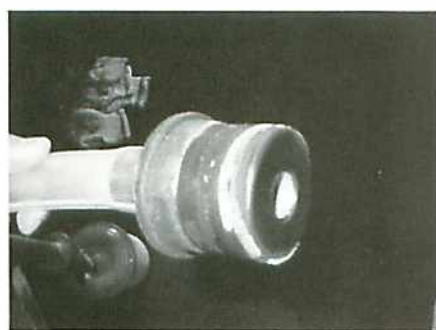
1. クロー内部の汚れ



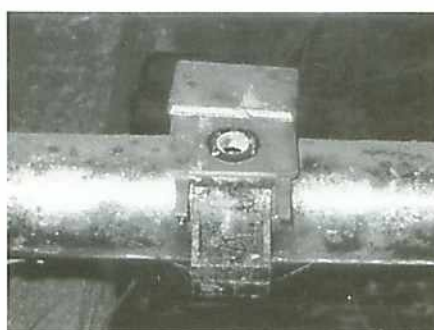
2. レシーバージャー内部の汚れ



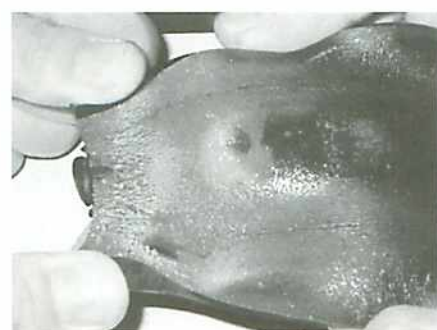
3. 投入口フタの裏側の汚れ



4. 送乳ホースの先の汚れ

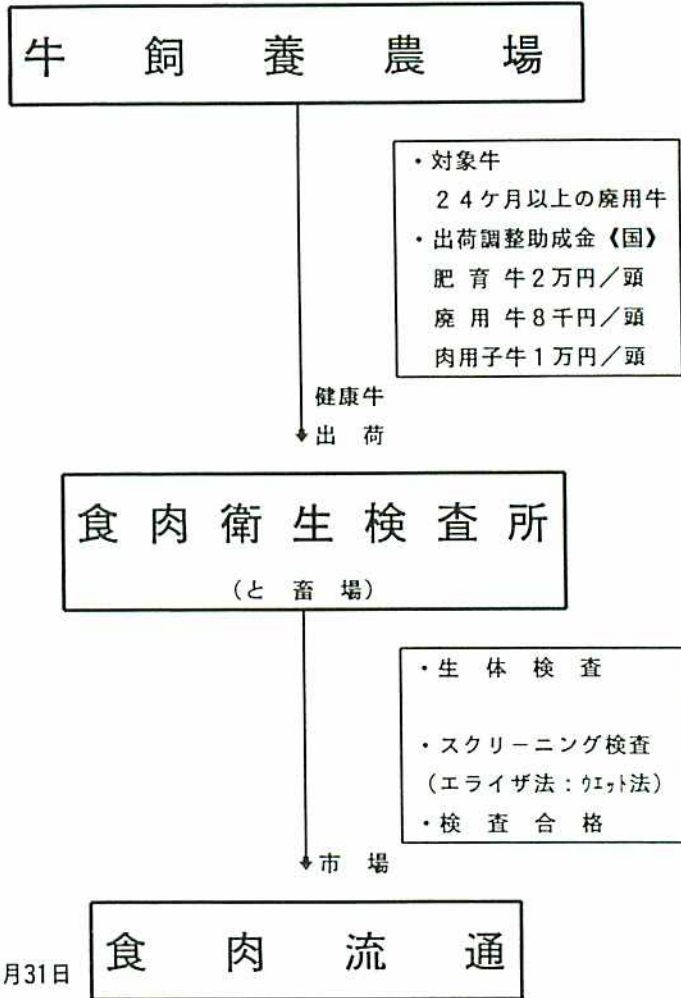


5. ミルクタップの汚れ

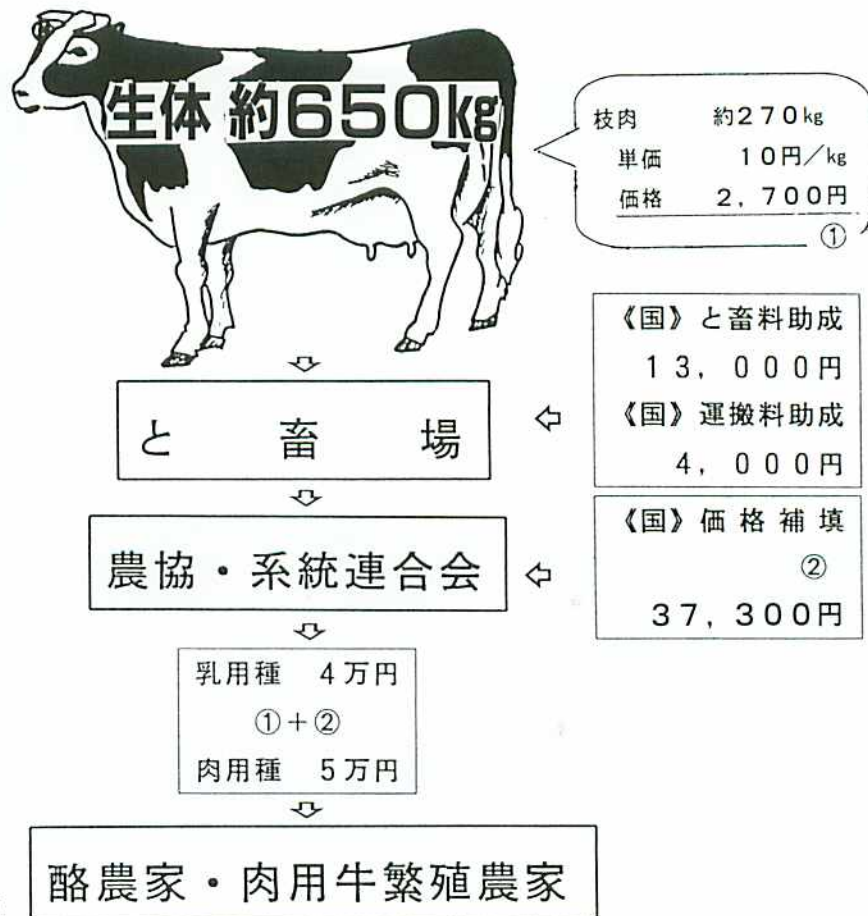


6. ライナー内のヒビ及び汚れ

**BSEスクリーニング検査受検促進
緊急対策事業及びBSEスクリーニ
ング検査円滑化対策事業**

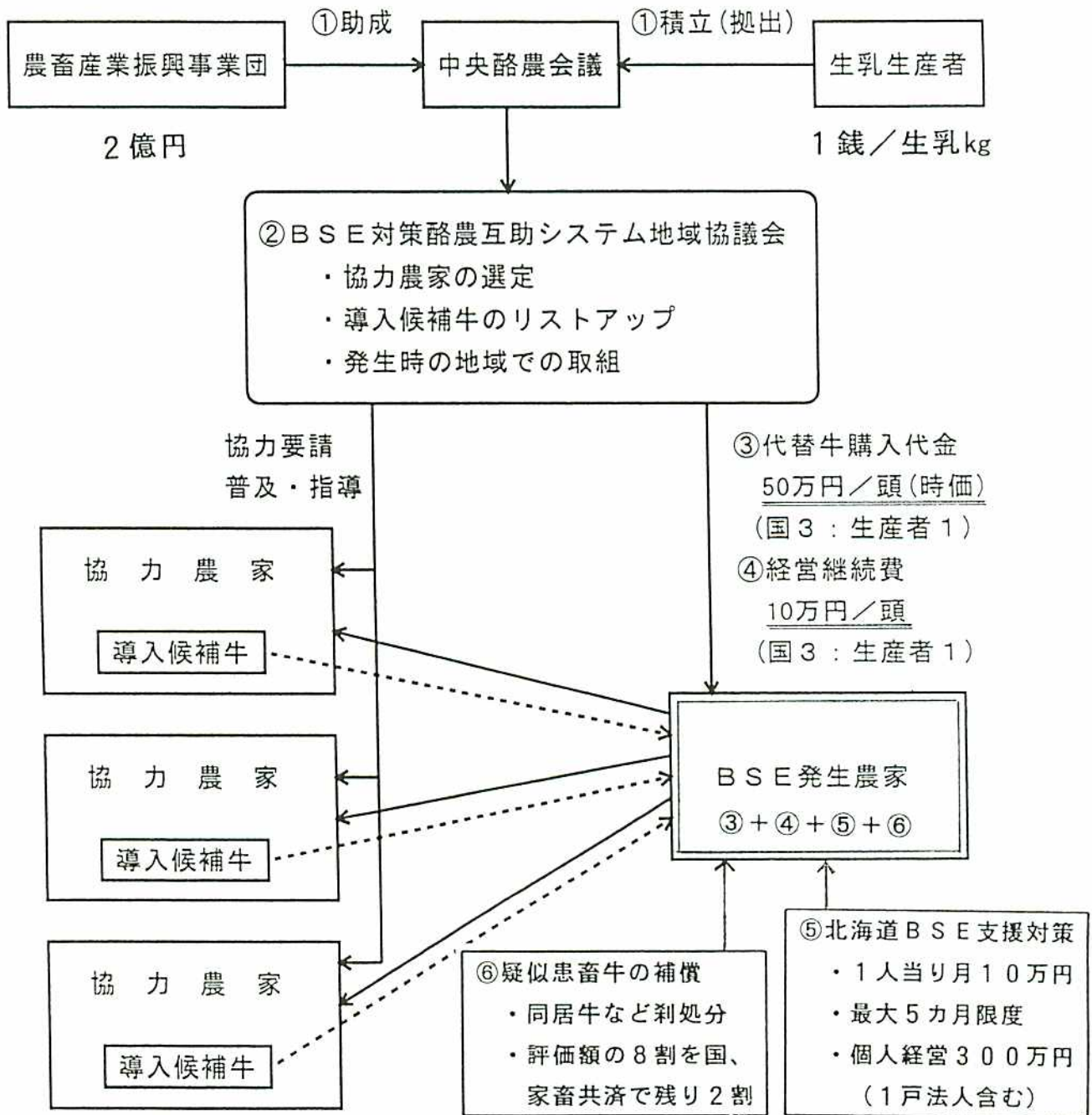


**廃用牛流通
緊急推進事業
の仕組み**



事業実施期間
平成14年2月1日～15年1月31日

BSE対策酪農互助システム支援事業



趣旨

- ① 原資は生産者団体が拠出する拠出金と国の助成金
- ② 地域ごとに互助協議会を結成
- ③ BSEが発生した酪農家が代替牛を購入する際の支援
- ④ 経営継続に必要な資金の援助

BSE関連対策

緊急優良経営後継牛資源確保対策事業

1. 事業の基本的な内容

保留、または導入した乳用種雌牛が、乳用種雌子牛を出産した場合は、出産した母牛1頭当たり30,000円以内の優良後継牛確保奨励金が交付されます。

(事業対象は母牛)

JAによる現地確認 → (保留、または導入牛)

(出生後2カ月経過時)



(出生雌子牛) 14年4月1日から15年3月31日の間に生まれた、ホルスタイン純粋種の雌子牛

2. 事業の対象になる生乳生産者の主な要件

- ① 廃用牛の出荷計画
- ② 出荷後の乳用種雌牛の保留、導入計画
- ③ 保留、導入予定牛の分娩計画
- ④ 廃用牛出荷後の経産牛頭数が、出荷前の経産牛頭数を下回っていないこと
- ⑤ 14年度の純粋種乳用牛の種付率が、概ね5割以上になっていること

3. 事業取りまとめは後日連絡いたします。

平成14年度加工原料乳生産者補給金単価などについて

1. 加工原料乳生産者補給金単価 (案)

(平成13年度)	(平成14年度)	(対前年比)
10.30円/kg	11.00円/kg	(+70銭)

2. 限度数料 (量)

(平成13年度)	(平成14年度)	(対前年比)
227万トン	220万トン	(▲7万トン)

平成14年度用途別原料乳価格

生乳受託販売特別委員会及び生乳受託販売委員会において、本年度の基本方針が決定されました

- ①市場の実態を踏まえるとともに、酪農経営の安定が図れる生乳取引を行なう
- ②「相対取引を基本とし、乳製品価格需給動向などの市場実勢を反映した、透明性のある生乳取引につとめる」が決定され、加工向取引会社の交渉が開始された

上記決定に基づき加工向取引会社との交渉内容は

㊦学校給食向

北海道による入札時期との関係から、13年度価格据置きで決着を図る

㊧加工原料乳

酪農乳業情報センターが公表する乳製品価格、需給動向などの市場実勢データを参照し、現行価格以上で交渉を取り進める

㊨生クリーム等向、チーズ向

関連対策の措置状況を踏まえ、交渉を取り進める

㊩飲用向

府県広域指定団体、全国連などの交渉状況を踏まえ、交渉を取り進める

㊪北海道酪農体質強化対策事業

生乳生産基盤の拡大に向けた具体的かつ効果的な対策について、乳業と協議を進め協力を求める

以上により加工向取引9社と、酪農乳業情報センターから公表された各種データに基づく試算を行ない、精力的に交渉した結果、加工原料乳価格は11銭値上げになる見通しとなっています。

北海道酪農強化対策費

この対策費は、各乳業メーカーより拠出されていますが、13年上期の生乳生産が低迷していたことから、生乳増産対策として13年度下期受託乳量に対し、次の通り交付されます。

①支払単価（受託乳量）

前年実績対比	101%以上	42銭6厘5毛/kg
〃	100%以上～101%未満	40銭/kg
〃	100%未満	30銭/kg

②支払月日 14年4月30日（予定）

③JA中標津下半期乳量

56,034,115kg（13年10月1日～14年3月31日）

53,359,709kg（12年10月1日～13年3月31日）

前年対比105%になり、2銭6厘5毛/kg増額されます。

当幌地区 筒井辰也・文代さん夫妻 長女 彩月ちゃん(一歳七カ月)



目指せ第2の“ZONE”!?

わが家の 人気者



春蘭漫ノ桜の開花目前の今月の人気者は、当幌地区・筒井辰也さん宅長女・彩月ちゃんです。

通常自宅に伺つての取材ですが、今回は女性部の行事に参加したママの文代さんと、おばあちゃんと一緒にボウリング場での取材となりました。

この日の彩月ちゃんは、家とは勝手の違う場内を所狭しと歩きまわり、

普段目に見えない機器類に興味津津！ママがボウリングをしている間に、階段を昇って二階の窓から外を眺めたり、ゲームコーナーで遊んだり、すっかり場内を散策しちゃいました。ゲーム機の前に座って、流れてくる音楽に合わせて体を揺らして踊ったり、パチンコ台で遊ぶマネをしたり、とにかく元気良く動きまわっていましたよ。

普段、家の中の彩月ちゃんはお人形で遊んだり、おもちゃのマイクを持って歌ってみたり、ママ曰く遊んでいるのかケンカしているのかわからないけれど、お兄ちゃんと対等に遊んでいたりと、大好きな照れ屋のおじいちゃんとおっそり、静かに二人で遊んだりしているんだって。なんだか光景が目には浮かぶようね！

これまでの彩月ちゃんは、家族が心配するような病気も全然ないし、人見知りする訳でもなく、これといつて手がかからない彩月ちゃん。そんな彩月ちゃんの将来に期待することとは？と、ママに尋ねると「うーん、好きな事させるけど、歌うことが好きみたいだから、第二の“ZONE”を目指して、ミュージシャンにでもさせようかしら!?!笑」なんて話してくれました。

家族みんなの愛情を一杯受けて育っている彩月ちゃん！今から、お歌の練習を一生懸命して“ZONE”を目指して頑張っつてね！期待しているよ。

循環型社会の構築にむけて①

昨年二月に「北海道農業用廃プラ
適正処理協力員認定講習会」を受講
する機会をいただきました。農プラ
適正処理についての講習でしたが、
これを取り巻く法や規制が別の環境
保全分野に及んでいることもあり、
国が環境に対して様々な施策を行な
う中で、新法が施行されている一方、
農家個々が一経営体として営業し続
けていく上で、それを「知らなかつ
た」では済まされない状況になるの
は必至であります。今回から数回に
わたって環境に対する国の考え方、
農村環境との調和などについてご紹
介いたしますので、事業者として取
るべきスタンスを再確認していただ
ければ幸いです。

望まれる循環型社会の形成

多量に排出される廃棄物問題を解
決するため、適正処理やリサイクル
という視点だけでなく、社会のあり
方や国民のライフスタイルを各人が
見つめ直し、天燃資源消費や廃棄物
の発生そのものを抑制する「循環型
社会」の構築が求められており、平
成七年に成立、平成十二年全面施行
された「容器包装リサイクル法」以
来、「家電リサイクル法(日十成立)」、
「循環型社会形成推進基本法(日十
二成立)」、「建設リサイクル法(日十

二成立)」、「食品リサイクル法(日十
二成立)」、「資源有効利用促進法(日
十二改正)」、「廃棄物処理法(日十二
改正)」など厳しい罰則付の法律が続
々と整備されております。
酪農家が最も注視しているのは、
「家畜排せつ物管理法」によって平成
十六年十一月までに屋根付きで不浸
透性材料(コンクリートなど)の床
を持った堆肥盤の整備等を求められ
ていることではないでしょうか。

日本の社会を支えてきた大量生産、
大量消費、大量廃棄という経済シス
テムが多量に発生する廃棄物や資源
の枯渇、不法投棄の増大を生み出し
たことが法整備の背景にあります。世
界の中の日本、日本の中の北海道
ということを見ると、「クリーンイ
メージ」をウリにしていることから、
道民の義務としても地球環境負荷に
対して再考する時期に来ているのか
もしれません。

大量消費、大量廃棄という経済シス
テムが多量に発生する廃棄物や資源
の枯渇、不法投棄の増大を生み出し
たことが法整備の背景にあります。世
界の中の日本、日本の中の北海道
ということを見ると、「クリーンイ
メージ」をウリにしていることから、
道民の義務としても地球環境負荷に
対して再考する時期に来ているのか
もしれません。

廃棄物の種類

廃棄物の定義については、廃棄物
処理法で定められており(図一)の
ように区分されています。

農業についても一経営体の事業活
動に伴い、排出された法で定められた
ものは産業廃棄物扱いとなります。
したがって、家畜ふん尿やビニール

などのプラスチック類が排出された
場合は、基本的にすべて産業廃棄物
であるとの認識が必要となります。

ただし、再生利用可能な物は極力
再生し、活用することも求められて
おり、有機質資源として家畜ふん尿を
活用することは大

いに推奨されるべ
きことであります。

廃棄物処理法で
は、動物ふん尿を肥

料として利用する
までの保管や、発

酵処理する場合の
保管基準、処理基

準のほか「ふん尿
の使用基準」が適

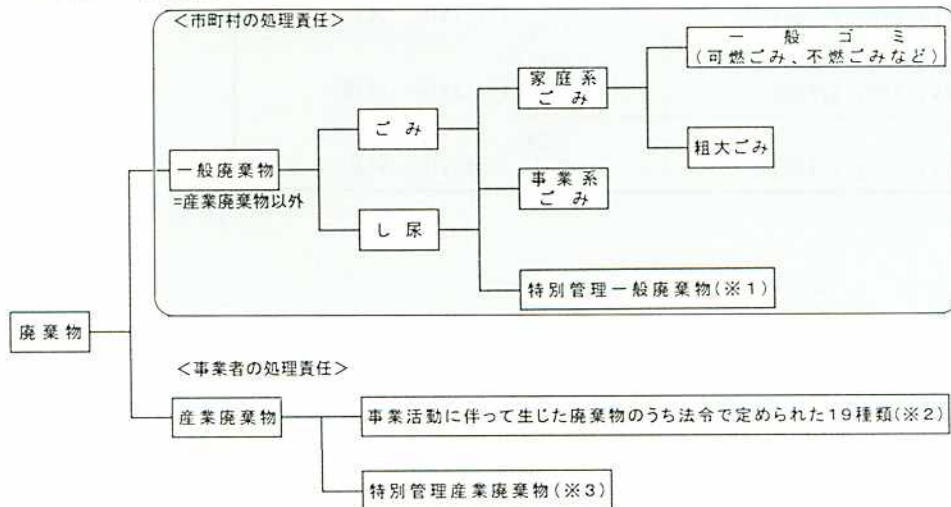
用されており、水
質汚濁など、人の

生活環境の保全に
支障を及ぼさない

ようにしなければ
ならないとされて

います。

廃棄物の種類(図1)



(※1) 爆発性、毒性、感染性その他、人の健康又は生活環境に係る被害を生ずる恐れがあるもの。
(※2) 燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、缶さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、上記18種類の産業廃棄物を処分するために処理したもの。
(※3) 爆発性、毒性、感染性その他、人の健康又は生活環境に係る被害を生ずる恐れがあるもの。
(資料=環境省)

い規制が設けられることが考えられ
ます。産業廃棄物については事業者
の処理責任が問われますのでご注意
を(次回へ続く)。
(文・協力員—企画課真野)

第13回酪農ヘルパー利用組合 通常総会



第十三回中標津町農協酪農ヘルパー利用組合通常総会が四月十九日、農協会議室で開催されました。

傷病時互助会 積立金を改正し安定した互助会に。

上村重光利用組合長の開会挨拶の後、当農協・高橋組合長、中標津町下村助役、ファム・エイ白井社長から祝辞をいただき、議長に依橋の金子安一氏を選出し議案審議に入り、全議案原案通り承認されました。

平成十三年度稼働実績は、延べ日数二、二六五・五日（通常対応一、五六七日、特別対応二五〇・五日、傷病対応二六四・五日、青年対応一八三・五日）となり計画を上回る実績となりました。

また、「ヘルパー利用拡大推進事業」「中山間地域等直接支払い制度」「傷病時利用円滑化特別対策事業」をそれぞれを昨年に引き続き助成しました。

総会において議案提出しました、「傷病時利用互助規約の改正」について、年々利用者が増え基金が不足しますので積立金を改正し、傷病利用の対応を図ってまいります。

酪農ヘルパー利用料金 1日当り

派遣対応	1名対応	2名対応
通常対応	15,000円 (外税)	30,000円 (外税)
特別対応	18,000円 (内税)	36,000円 (内税)
傷病対応	11,500円 (内税)	23,000円 (内税)
青年対応	16,000円 (外税)	32,000円 (外税)
時間外対応	30分 1,000円 (外税)	30分 2,000円 (外税)
日中特別対応	1回 5,500円 (外税)	1回 11,000円 (外税)

◇日中特別対応

- ・作業内容 給餌作業及び除糞作業に限る
- ・作業時間 2時間以内とし、次の時間内に処理できるものとする
午前10:00～12:00
午後 1:00～ 3:00

○業務内容 搾乳・飼料給与・哺育・除糞などの日常作業代行

○稼働時間 1日7時間以内（朝・夕 各3時間30分）

畑作組織が結集し、課題解決を。

●中標津町農協畑作対策協議会 第5回 定期総会

平成十四年五月一日、農協大会議室において、中標津町農協畑作対策協議会第五回定期総会が開催されました。

高橋勝義会長の挨拶の後、中標津町新出町長、北根室地区農業改良普及センター長野所長から祝辞をいただき、議長に北中の大内勝利氏を選出し議案審議に入りました。

本年度事業計画の中で、政策要請時に補助事業の取組内容が複雑化しており、簡素化できるように要請をとの意見が出され、高橋会長から「事業には一定の条件があります。今、取組んでいる緑肥事業も継続できるように、また、簡素化になる様に要請し

ていきたい」。

畑作六組織の組織体制や活動、運営内容などについて、組織整備検討委員会を設置し、十二月中旬頃までに整備素案を作成する事に決定いたしました。

シカ駆除対策について、協議経過を報告し、早い時期からの対応を進めており、駆除に際しての生産者の協力を再度願いました。

また、今年度は畑作物耕作図面の作成を行なうに当たっては、播付が終了した五月末頃に実測を行なう予定で進める事を、事務局から説明を行ないました。

以上で全議案原案通り承認されました。

最後に、高橋会長の閉会挨拶で、「BSE関連で加工馬鈴しょ在庫が多く出ており、三品価格要請時には、別途対策として要請していきたい。また、加工馬鈴しょ貯蔵施設などの整備も行なってきましたが、投資効果が出るように生産者の協力をお願いしたい」。

今後、播付作業が始まりますが、事故の無いよう、豊穰の秋を願い、畑作組織が結集して、課題解決に取り組んで欲しいと閉会の言葉で総会を終了しました。

会員の結集により、品質、生産向上を目指そう。

●第5回 生食・加工馬鈴しょ部会 定期総会

平成十四年四月十五日、中標津町農協生食・加工馬鈴しょ部会の第五回定期総会が、中標津町農協大会議室で開催されました。

武田部会長の挨拶の後、高橋組合長、普及センター高橋主査、中標津公設市場青山次長から祝辞をいただき、その後、議長に南武佐の真野幸一氏を選出し、議案の審議に入りました。提出された全議案が満場一致で承認されました。

役員改選では次の方が選出されました。

会長 武田 健治（再任）

副会長 森島 靖雄（再任）

〃 松田 隆（新任）

監事 石橋喜美夫（再任）

新年度は、地元販売を強化しながら販売促進を進め、消費者との交流事業の取組を行なっていく事としました。

また、I M Oプロジェクトとして、品質向上に向けて栽培指針の作成などと、試験栽培を通して一層の品質、生産向上を目指し、会員の結集を図っていく事を確認し閉会しました。



視察、勉強会を通して、 高品質な生産を。

● なかしべつグリーンクラブ 定期総会



平成十四年四月十二日、なかしべつグリーンクラブ定期総会が、農協中会議室で開催されました。

西崎会長の挨拶の後、中標津町農林課・中川氏、普及センター・高橋主査、南出参事から祝辞をいただき、会長が議長兼任で議案審議に入りました。

事業計画では、道内産地視察や取引先の視察、勉強会を通して高品質な生産を目指し、会員が結集して取組んでいく事を確認して閉会しました。

活発な質問も出され、 再認識の勉強会になりました。

● 中標津乳牛改良同志会 第一回勉強会



いて問題定義がなされ、後半、原氏より良質サイレージについて採草から貯蔵まで説明がなされました。

参加者より活発な質問など出され、再認識の意味もふまえ、勉強会になったのではないのでしょうか。同志会では年三回の勉強会を予定しております。次回も今知りたい事をターゲットに勉強会を開催いたしますので、どしどしご参加下さい。

去る四月十三日、JA中標津大会議室にて、酪対の後援をいただき今回、講師に根釧農業試験場玉木主任専門技術員、同原乳牛飼養科長を招き良質サイレージの調整利用についてと題して、参加人数五十二人にて勉強会が行なわれました。前半、玉木氏より草地の土壌硬度につ





全部員一丸となって 青年部の組織をつくろう。

第54回 青年部通常総会

青年部長 佐々木 大輔

去る四月十六日、青年部通常総会が開催され、議事、案件など全部員の承認をいただき、無事終える事が出来ました。これから青年部の新しい一年が始まる訳ですが、規約の改正を受けて部長以下三役の任期が二年となり、大きな責任とプレッシャーを感じています。しかし、青年部の活性化と意識向上を目指し、役員一同努力して行きますので、部員の協力を心よりお願いしたいと思います。また、新年度より十人の新しい仲間が加わり、

二年続けて部員増となりました。大変喜ばしい事であり、新しい部員の方々は、どんどん青年部活動に参加して仲間を作り、さまざまな知識を吸収して欲しいと思います。

最後に総会時にも申し上げましたが、青年部を創るのは少数の役員ではなく、部員一人ひとりであり、良い青年部とはなにかを考えながら、全部員一丸となって頑張りましょう。

平成十四年度 役員

部長 佐々木大輔

副部長 西垣 努・鷺見 健・藤田 晋

監事 藤原智樹・高橋春樹

理事 板橋 匠・中本信幸・筒井辰也

中司拓也・中林誠司



生産者として、青年部として、
どうすべきか意見が交わされました。

全道JA青年部定期総会

青年部副部長 西垣 努



去る四月一日、札幌共済サロンにおいて、全道JA青年部定期総会及び部長研修会が開催され、佐々木部長、鷺見副部長と参加してきました。

全道の青年部も昨年、五十周年と言う一つの節目を迎えた中、BSE、各食品会社の不祥事と、いろいろな問題が山積みでしたが、今年度は生産者として、青年部として、どうすべきかなど、活発な意見が交わされました。また、部長研修会では、日本産業カウンセリングの石田邦雄氏の講演があり、苦勞一杯の人生談など、聞く人達を飽きさせない講演でした。

今年も、元気な活動を！

●女性部 青葉会の集い

四月八日、中標津保養所温泉にて女性部青葉会の集いが開催され、十人が参加しました。



まず、昨年度の活動の改善点など振り返りながら、今年度の年間活動計画について話し合いが持たれました。また、今年度新部

会長に、第二俣落地区・田代富子さんが選出され、「皆さんの協力の基、一年間がんばらせていただきます」と、力強い挨拶をいただきました。

昼食をはさみ、恒例の「工芸教室」を行ない、今回はハーブソープアレンジを作りました。この作品は、ドライフラワーを各自、思い思いのアレンジに仕上げ、それをハーブソープに固定させ、ラッピングするというものです。短時間でできるし、それぞれの個性も出て、好評のうちに完成しました。

工芸教室終了後は各自自由解散とし、温泉に入浴して帰る人もいれば、ゆっくりお喋りをして帰る人もいた。個々の楽しみをプラスさせ集いは終了となりました。

今年度の青葉会も、本休活動に負けず衰えず元気な活動が期待できそうです。

規約改正に伴う頼もしい新メンバー入部！

●女性部 フレッシュミズの集い



四月十八日、「フレッシュミズの集い」が開催され、十七人のフレッシュ会員が参加しました。午前中は、交流会を目的としたボウリング大会で、冬場の鈍った体を動かしながら、笑いあり、悔しさありと、大いに親睦を深めていました。

ボウリング大会の後は、中華料理店「東龍門」に場所を移し、中華ランチを囲みました。今年度の総会で承認された「部員資格は、営農従事者だけでなく会の運営に賛同するものとする」という、新規約に伴って入部した従事者以外の部員二人を含む新入部員の紹介も兼ねて、名前はもちろん家族の事、夢などをそれぞれ思い思いに自己紹介をしました。

顔と名前が一致したところで、いよいよ今年度の活動計画について話し合われました。より多くの部員参加をもつて楽しく活動できるように、総会時に調査したアンケート結果を基に、小さな子供を連れて参加できる活動、また、当農協青年部との交流会活動など、フレッシュミズならではの活動に目を向けられています。

新メンバーを加えたフレッシュミズ活動も、今年は目が離せなさそうです。

暮らしの 知恵袋

【家庭菜園】

その②

北根室地区農業改良普及センター

葉茎菜類の育苗

一、必要資材

○育苗用培土：市販の育苗用培土が、肥料やけや病気を生ずることも少なく無難ですが、自家土に持ち合わせの肥料でもかまいません。

○鉢……育苗箱、ポリ鉢（径九〜十二センチ）、魚用の発泡スチロールなどでもかまいません。

二、育苗の場所

葉茎菜類は多くが冷涼性の作物で、トマトやナスなどの果菜類と異なり、無加温ハウスや露地トンネルでも良い苗を育てることができます。

条件・日当たり、風通しの良いところ

・排水の良いところ

三、植え付け期と育苗法

キャベツ、レタスなど低温期に定植するときには、大苗で植え付けます。大苗を作るときはポリ鉢苗の三号から四号（九〜十二センチ）を用いると良いでしょう。暖かい時期に植えるときは、小苗の方が活着が良いです。五月定植の場合は、被覆資材（マルチ、バオバオなど）を利用します。

① 蒔き付け箱の底面に新聞紙を敷き、八分目くらいまで培土を入れます

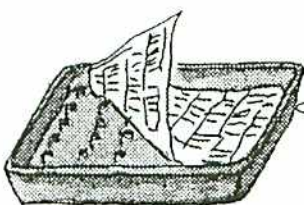
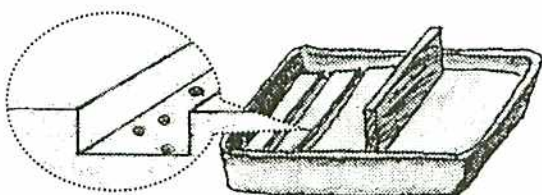
② 培土全体が湿るまで灌水します

③ 板などで播き溝をつけ、は種します

○深さ……一センチ弱

○間隔……四〜五センチ

作物	植え付け期	育苗期間
キャベツ	5〜6月	育苗箱 20〜25日（本葉2〜2.5枚）
ブロッコリー		ポリ鉢 25〜30日（本葉5〜6枚）
はくさい		
レタス		
サラサ菜など		



覆った新聞紙を取り除くのが遅れると苗が徒長するので注意！！

④ 覆土をして、培土が湿るまで灌水します。

⑤ 濡らした新聞紙で蒔き付け表面を覆ってやると、発芽が良くなります（発芽するまで）

四、温度管理

葉茎菜類は果菜類よりも低い温度で発芽します。発芽後の温度は日中十五〜二十℃、夜間十二〜十三℃を目安に換気、保温に努めてください。

熟年会春期研修旅行



きで船を操る船頭さんにびっくり、水しぶきにはらはらしながらも新緑の風景に満足。美空ひばり館では戦後の昭和を映し出した歌の数々、振り返ればいつもそこに、ひばりさんの歌がありました。金閣寺二層三層と純金が俣由比光を放し皆さん満足。最後の夜とあり、皆さん歌と踊りで大変盛り上がり、またひとつ思い出が増えたのではないのでしょうか。そして最終日の二十三日晴天の中、ホテルの見送りを受け午前八時三十分出発。大阪へ、リニユアルされた大阪城を見学し、伊丹空港へ。羽田空港を経由し、午後五時四十五分中標津空港へ多くの思い出と、たくさんのお土産をもって帰りました。

船頭さんのかい櫂さばきに驚きながら、新緑の保津川下りを堪能。



熟年会春期研修旅行は、四月十九日晴天のなか、中標津空港で藤井会長の結団宣言後、午前十一時二十五分空港を後にし、羽田空港を経由して午後三時に伊丹空港に到着。観光バスで信貴山に高台で山の中のホテル柿本家に到着、肌寒く中標津と余り変わりませぬ。

二十日、朝食を済ませ午前八時三十分晴天の中、吉野山如意輪寺、明日香めぐり後、奈良のホテルに到着。

二十一日、奈良公園で鹿に取り囲まれ、餌を催促されていた小谷さん。人なつっこい鹿でした。東大寺大仏殿では大きな仏像にみな圧倒されていました。奈良国立博物館平城宮跡、宇治平等院などをあとに京都のホテルに到着。

二十二日、朝から気温も二五度と汗ばむ晴天、保津川下りは亀岡から嵐山まで十六き、急流を鮮やかな櫂さば



第一回理事会の経過

開催日時 平成十四年四月十五日

〈決議事項〉

- 一、定款の全部変更について
- 二、定款附属書役員選任規程の制定について
- 三、定款附属書役員選挙規程の廃止について
- 四、規約の改正について
- 五、資産査定要領の一部変更について
- 六、株式会社「日本農業新聞」(仮称)への出資について
- 七、退職給付会計の適用について
- 八、第五十五回通常総会開催日程と提出議案について
- 九、総会提出決算関係書類の監事への提出について
- 十、スプレヤーのリース取得について
- 十一、各種資金の借入申込について
- 十二、スラリー散布及び堆肥運搬事業に係る利用者負担について

〈報告事項〉

一、決算監査の日程について

〈報告事項〉

- 一、規約附属書監事監査規程の改正と監事監査実施要領の廃止について
- 二、平成十四年度三月末クミカン状況及び四半期報告について
- 三、根室管内JAにおける法人の出資状況について
- 四、平成十三年度生食加工馬鈴しの販売状況について
- 五、平成十三年度生乳生産状況について
- 六、平成十三年度各種補助事業及び十四年計画について



4月の組合日誌

- | | |
|-----|--|
| 1日 | 新採用職員オリエンテーション
職員歓迎会 |
| 2日 | 監事協議会総会 |
| 3日 | 新規融資協議
和牛振興会役員会 |
| 4日 | 第1監事会
SCM3役会 |
| 5日 | コントラ協議会、準備会、設立総会
第3回乳牛改良同志会役員会 |
| 6日 | 生食・加工馬鈴しよ役員会 |
| 9日 | 普及センター打ち合わせ
第1回女性部役員支部長会議
青年部監査員会
青色申告役員委員会
原種農場運営委員会
第2回青年部役員会
第1回生産委員会 |
| 10日 | NSH利用組合打ち合わせ
酪農ヘルパー監査員会 |
| 11日 | 第1回酪農委員会勉強会
乳牛改良同志会勉強会 |
| 12日 | グリーンクラブ定期総会
第1回酪農ヘルパー役員会
だいこん部会栽培講習会
経営構造対策事務検査 |
| 13日 | CDP研究会総会 |
| 15日 | 生食・加工馬鈴しよ部定期総会
第1回理事会 |
| 16日 | 青年部総会前日準備
酪農総合研究所運営委員会
SCM総会
第54回青年部通常総会 |
| 17日 | 畜環リース事業打ち合わせ |
| 18日 | 馬鈴しよ安定対策事業説明会 |
| 19日 | 第13回酪農ヘルパー利用組合通
常総会
畑作部会総会 |
| 22日 | 決算監査
結婚対策相談員会議
CCC総会 |
| 23日 | 第2回酪農委員会
グリーンユニオン総会
農連役員会
中標津乳質改善連絡協議会
畑対役員会
グラスグループ総会 |
| 24日 | 結婚対策いっぶくの会役員会
NPK利用組合会議
コントラ協議会 |
| 26日 | 農場リース事業説明会
中標津地区集落委員会
農業農村交流拠点施設説明会
馬事振興会役員会
畑対総会
NSH利用組合総会 |

3カ月予報

向こう三カ月の天候

三カ月平均気温は、平年並か高い可能性が大きく、その確率は共に四〇割です。

可能性の大きな天候の見通し

五月

天気は概ね周期的に変わり、平年同様に晴れる日が多いでしょう。気温は高い見込みです。

六月

天気は周期的に変わるでしょう。一時、低気圧や前線の影響でぐずつく時期がある見込みです。気温は平年並の見込みです。

七月

天気は周期的に変わるでしょう。後半は太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日がある見込みです。気温は平年並の見込みです。

三カ月間降水量は平年並でしょう。

懐しき古き一枚の写真



昭和20～34年頃まで馬車に刈りとったデントコーンを満載に積んでつみあげ、農業試験場の指導を受けながら、切り込み作業をしたものです。どちらも、力のいる肉体労働でした。

写真提供 藤井 弘美氏